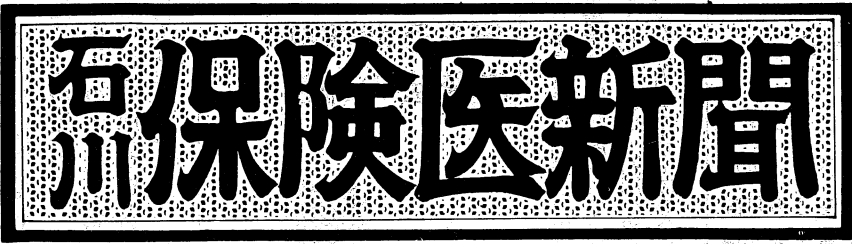


老人保健法案を廃案に

国会請願署名にご協力下さい。

(本号は未入会の先生にも送付しました)



発行所 石川県保険医協会 金沢市尾張町1丁目9番11号...



北信越4県から40名が参加して、第3回連絡会を開催

一、組織拡大について 保団連の前半期の会員増加は、医科一五二名、歯科七八六名で、史上最高の拡大を挙げました。

が増強される結果となります。会員拡大のためには、共済活動が大きな力となっています。

北信越ブロック実現に一步前進

会長 後藤 田博之

力をお願い致しますが、特に歯科では九月より協会理事として二名、機関紙部員として二名の先生がご承諾下さい。

北信越各協会の組織拡大は本年度めざましいものがあり、特に歯科に於いては富山に続いて、長野協会で近い将来歯科部会の実現のメドが見えてきました。

第3回北信越連絡会開く

診療報酬再是正を決議

急ぎたい 歯科部会の確立

九月十九、二十日の両日、第三回北信越保険医団体連絡会が富山市で開催された。北信越四県から四十名が参加し、石川協会からは後藤田会長、平松副会長、藤田理事、歯科二名、神田事務局長が出席した。

歯科分代会は市岡歯科協副会長を迎えて、十七名の参加があり、診療報酬改定後の対応は実質ダウンの様相であり、改定後二ヶ月の状況により再是正の必要性を確認した。

老人医療を「国の責任」から「国民の相互扶助」に根本的に改悪しようとする老人保健法案の廃案を求めて保団連各協会では国会請願署名に取組んでいます。

老人医療を守る 請願署名のお願い

最近では自分の権利のみを主張し、何でも訴えることがはやる時代となったが、今後、ますますひどくなることと想う。アメリカでは訴訟件数が異常に増え、医師賠償保険会社が賠償支払いに苦しんでいるという事態も出現した。

医心凡語

先日、母親と一緒に受診した湿疹の小生あり、いつものように処置していたら、手にたぐさんのイボがあった。

老人保健法案を許したら

- ① 70歳以上の老人医療は「無料」から「有料」に（低所得者でもすべて）外来は、毎月500円、(内)入院は毎月300円を4カ月間徴収）。69歳の県の無料制度も廃止の危機に。
- ② 「登録制」や「請負い方式」で、70歳以上の老人だけは医者を選ぶことができなくなり、医療の内容にワクをはめ、劣悪で安上りなものに。（検討中）
- ③ 国の費用負担は大幅に減る一方、被保険者は新たに「老人保険料」を徴収される。
- ④ 他の重要事項は厚生大臣が任命する委員で構成する「老人保健審議会」にはかり、大臣が決めてしまう。
- ⑤ 各種保健事業は財源、施設、従事者の裏づけもなく絵に描いたモチ。
老人健康診査や成人病健診も「無料」から「有料」に後退。

第3回北信越連絡会の報告

本部より堀場副会長、佐谷事務局長が臨席されて、長野・新潟・富山・石川の協会代表者が当番の富山に集合し

て開かれました。これは北信越ブロックを成立させる準備会のようなものであり、横の連絡にも強い保団連が、色々

の点で話し合い、協力する機会を一つ増やすことになりました。武見日医会長は医師会病院、

副会長 平松昌司

横の連絡に強い保団連



金沢大学医学部長 本陣良平

秋の医師国家試験も、去る九月二十六、二十七日に実施され、且下判定待ちといったところである。例年、新聞は学校別に合格率を発表し、世間はその結果が学校のランクを示すと錯覚するためか、会合に出席すると、大先輩の先生からお小言を頂戴し、返答に困ってしまう。

医師国試は、戦中戦後の教育界の混乱を思うと、当時としては実施する価値と理由があったかもしれない。また最近、医科大学の乱造による一部学生の学力低下も否めない。何らかの形の資格判定は止むを得ないかもしれ

ない。疑問はその実施内容にある。言つてもなく、医師国試は資格判定の試験であり、選抜試験ではない。このことをその原因を強いて推測すると、科目試験終了後、国試までの期間に勉強した内容を忘却したか、大学間にその教育内容に著しい差があるか、国試の

国医学部長会議の折などに出席する両省の役人の言辭を聴くと、両省の間には有機的な意見交換は行なわれていないようである。

ざるをえない。最近の問題を見ると、二重否定や、重箱の隅をほじくるようなものや、手引に準じない問題や、専門的にすぎ、特に人名を冠した

国試の問題は、医師として当然心得ておるべき普通よくある病気と、専門医に送るまでの救急処置に限るべきではないだろうか。しかも厚生省は、従来、春秋二回行っていた医師国試を、春一回にしたが、都合により延期しました。

医師国家試験雑感

十分考慮して実施すべきである。大学で科目試験に合格と判定されて卒業した学生が、医師国試に落第するというのは、本来矛盾したことである。

問題が不適当であるか、この三点しか考えられない。しかも、医学教育は文部省の統括下にある大学が行ない、国試は厚生省が実施しており、全

知識の忘却はしかたがないが、大学間に、教育内容にそれほど著しい差があるとも思えないから、落第が多いのは、問題が当をえていないと考

問題など、試験委員の個人的嗜好に偏したものが著しくめだつ。合格した学生にきくと、色々な情報を収集して、雑多な知識をともかく暗記し

◎前号にて福井医科大学長・高瀬武平先生と予告しましたが、都合により延期しました。

医師会経営局を作るように奨励しているが、今回の改訂では日医の保険担当理事でも大切なことは知らされていない。又、五段階税制も見直すべきだとの発言をしている。保団連では一日でも早く会員に情報を流すように努力したが、厚生省に対して再正要求・不合理点数に対する公開質問状・業務行政等に対して申し入れを行っている。

今回の改訂では医師のみに犠牲を強いたところに問題がある。中病院の打撃はひどく管理栄養士の他は給食、清掃等下請業者を導入するところが多くなった。医療費の西高東低もほとんど各県の努力によって異なってくる。老人医療は首切りがあった。

一ヶ月五百円というけれど、別の医者にかかる度に五百円かけるX倍となる。ある県では糖負荷試験で一日血糖をみる時は平生の状態をみるのだから、家へ帰って仕事をし再び検査するので、再診と検査料とが請求できる。内視鏡では癌の疑いがあればパンチで四百点加算できる。(切除後に癌をきめるのではない)。胃酸測定は三十点と調剤処方料と薬剤料が加えられる。塗布薬をぬったのは処置として認めると薬剤料も加算される。関節内注射は内科再診可能。便秘は月一回でも慢指可能。注射針の購入価を書けとは書いてない。ある健保組合は二十七日目にいきなさいと指導した。休日診療所では誰かみても乳歯がとれるのだから各科でも請求できそうなものなど、色々のニュースが聞かれました。

第3回北信越連絡会の決議

本年六月一日実施の薬価基準の引下げと診療報酬の改訂は、当局の公表数値とは逆に、三年余に及ぶ物価・人件費の上昇を全く無視し、ほとんどの保険医療機関が減収を来すという前代未聞の改訂であった。この改訂はまた、検査・注射・理学療法等に端的にみられるように診療行為を包括、切り下げることで、医療内容の質的・量的抑制をも企図したものであり、国民医療に重大な悪影響をもたらすものと懸念する。

九十五臨時国会で、且下政府は老人保健法案を成立させることにより、老人医療費の圧縮をめざしている。これは各地の自治体で無料制度を広める等、着実に前進を続けた老人医療制度を後退させる第一歩というだけである。高令化社会をむかえ、その役割を一層発揮するため、地域の保険医療体制充実を求めている開業保険医の願いに逆行し、更に政府は、これらのことと一体に、行政改革の名の下に、医療・福祉の全般の後退につながる見通しを財政上の理由から企図している。

われわれ北信越の保険医団体は一致して、国民の生命と健康を守る医療人としての立場から、これら一連の政策をすすめる政府に厳重に注意と反省をうながすと共に、国民の医療・福祉の充実をめざし、次の項目の速かな実施を求め、その実現のため努力する。

- 一、診療報酬の緊急再引上げを実施することは、第一線保険医療機関が国民の課題である。その際、初診・再診・投薬・検査・処置・理学療法料など、日常の基本的な診療行為の実質引上げを断行すること、ゆきとどいた診療・指導ができるよう医師・看護婦・医療従事者の労働を評価する点数とすること。
- 一、ポリサルホン義歯床の保険導入を撤回し、既存義歯の改善を優先すること。
- 一、東北・北信越の各県に寒冷地療養担当手当の適用を拡大すること。
- 一、医療基礎施設の導入や一人医療法人の新設など、医療経営の実態に合った医薬税制の確立を速やかに実施すること。
- 一、患者の受診抑制を主な目的とし、医師と患者の信頼を損ねる医療費通知運動を中止すること。行き過ぎた指導・監査など官僚統制の強化に反対する。
- 一、医師不信をあまり、事務量の増大を来す、領収明細書の発行義務づけに反対する。
- 一、老人医療の有料化には同意しない。
- 一、社会保障の後退につながる「見直し」は直ちにとりやめ、医療・福祉の改善・充実を求める医療担当者・国民の願いを実現する行政改革を実施すること。



9月18日、富樫公民館で行われた健康なんでも相談

第四回健康なんでも相談

公民館が総合病院に

親切でわかりやすいと好評

第四回健康なんでも相談が九月十八日夜、富樫公民館で開かれた。協会側から後藤田会長、林、竹田、藤田、福島村上、平丸、永田の各先生、地元側から三十五名の出席者があり、始めに後藤田会長からの挨拶があり、次に藤田医師による「中年からの食生活」というテーマでスライドを使つての講演が行われた。続いて健康なんでも相談に移った。今回は中年からの食生活というテーマだったためか、質問がほとんどテーマに限られ、小児科・婦人科の質問はなかった。発言の内容は医療費が高過ぎる、薬剤の量が多い、もっと説明をしてほしい、煙草と健康、運動と健康、X線被曝について等々、かなり密度の高い質問であり地域住民の医療への関心の高さを感じた。出席者も中・高年の人が多く、時間と共に熱心に質疑応答が行われ、予定終了時間を四〇分超過して終わった。

健康の認識を新たに

（第4回健康なんでも相談）アンケートより

問1. 今日のお話は、よくわかりましたか。
イ、わかった(二一名)
ロ、わかりにくかった。

問2. 話し方に注文があれば書いて下さい。

問3. 「健康なんでも相談」に参加した感想を気軽に記入下さい。

呼びかけるべきだと痛感しました。
親切に質問に対して説明していただき、このような会合ならば時々開催していたければ結構です。もう少し地元の方に広く呼びかけていただければ幸いです。
自己の健康管理に再認識ができた。
質問内容もよく回答も的確であった。
食事と運動の大切なこと、特に塩分をおさえること。こんな会合を定期的にしてほしい。

大変参考になった。
以後、時々あった方が良く、多くの方に広めると良い。
健康保持のため大いに役立ちます。
参加して良かったと思えます。
お忙しい先生方が八人もこられて親切に色々とお話ししていただき大変有意義でした。

問4. その他、開業医へのご意見・ご要望

薬が多すぎるように感じる。
先生の性格もあると思うけれど、患者は心配して病院又は医院で質問をするのに、あまりにも無愛想な先生も見受けられる。
気楽にお話しができる先生が良いと思う。
日曜・休日の緊急の場合、指定医が遠いので不安になります。指定医の日曜・休

日の再検討を願いたい。
本人の立場に立って親切である。
医療費を安くしてほしい。
気楽に診察に行けたら良いと思う。
〔例〕検尿・血圧測定だけの場合は、多忙な先生については遠慮して、行きたくても行けない。
健康保険証を使用しているのに、どの位の料金がかかるのか不明。料金の明細書があれば良い。
われわれが日常修理をした場合、部品名・工料単位を書き請求の内容がわかるようになってほしい。医者の治療費だけはこのような形式になっていないのが一般の不信をいだく原因にもなっているのではないかと。
やはり薬の量が多い。患者はほとんど飲まない。
薬の使用方式をわかりやすく説明してほしい。
共同施設であらゆる病気に万全を期してほしい。
日時を決めて各科の先生方を動員しての総合診断があれば良いと思う。
診察に行っても後の人を先に呼ぶ場合がどこにでもあり、整理を徹底されたい。仕事の都合で診察を受けずに帰ることもある。

（参加者二十五名中、二十一名より回答がありました。）

協会の行事案内

第109回保険診療研究会

テーマ 自己免疫疾患の臨床
—— 最近の考え方を中心に ——
講師 金沢医科大学血液免疫内科助教授 菅井 進 先生
とき 十月十六日(金) 午後七時半
ところ 金沢プリンスホテル第一会議室
(駐車は大和グリーンパーキングにて)
協賛 三共株式会社

従業員のための実技講習

テーマ 患者応接の心得
《その1》電話の上手な使い方
講師 金沢電話局第三営業課広報係長 高田 和彦 氏
とき 十月二十二日(木) 午後七時半
ところ 石川県医師会館四階ホール
※定員四十名になり次第、申し込みを締切ります。お早目にご連絡下さい。

第2回輪島鳳至保険医懇談会

◇とき 十一月十四日(土) 午後六時
◇ところ 輪島市農協会館二階和室
◇話題提供
①診療報酬再正要求と見通し
②保険医協会の活動紹介
③最近の税務情勢と税務対策
◇参加費 三、〇〇〇円(懇親会費用)

日医、絶対反対を撤回

老人保健法をめぐって

厚生省、法案成立に全力

武見日医会長は九月十六日の全理事会の席上、今臨時国会の焦点である老人保健法案について、①老人医療費の支払い方式は現行の出来高払いとする、②老人医療に関する新しい診療報酬表は作らない、③新たな老人保険医の指定導入は行わない、の三点で、すでに政府・自民党の間で了解済みであることを明らかにしました。これにより日医は「老人保健法に対し従来の絶対反対の立場を転換し、修正をめぐっていく方針」（読売）に変更したことは、事実上反対しないということのようです。

しかし、政府・自民党が提出した老人保健法案の基本は無料化原則であった老人医療が有料化原則に大転換したということ、今回の武見会長発言は、国民医療改善運動に大きな汚点を残しそうです。なお、日医との合意について、その後、記者会見を行った村山厚相は、自民党とは合

今回もいつもの通り朝から晩までのびっしりの日程で、執行部の挨拶・活動・情勢分析・これからの課題等に引続き、幹事よりの発言・質問・応答といったような形式で行われました。今年には未曾有の会員増加で前期中に医科一五三名、歯科七八六名入会あり、如何に保団連の活動が要求されているかがわかると共に期待に答え得る運動を行ってゆかねばならないと思えます。色々のことが発言された中で感じたことを二、三とりあげてみます。

①審査監査の強化（医療費の三〇％圧縮） 税務攻勢

②医療費通知運動等のしめつけのきびしい中でいじけないうで診療内容の向上をはからねばならない。③保団連活動は国民の支持を受ける活動でなければならぬ。

みなし医療法人及び現五段階制の維持を考えている。④中央で要する運動は保団連本部がやり、各都道府県でできることは夫々が努力すべきである。⑤日本では

史上最高の会員増加

保団連への期待拡がる

薬価のオンコスト、銘柄別廃止、技術料の評価。⑦国庫補助を国保でへらす。⑧答申一七〇の中、約七割が国民生活に犠牲をしいており、医療福祉の後退、大企業

ておきます。一、点滴注射、理学療法、ポリサルホン導入など、六月改定の不当、不合理を直ちに是正せよ。一、国民の健康をまもり、

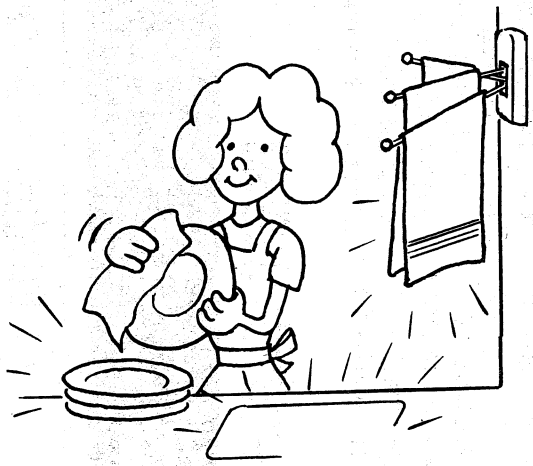
一、老人から生甲斐を奪う老人保健法案を撤回せよ。一、個人所得と事業所得の分離など合理的医療税制を確立せよ。一、製薬・医療機器など大企業の不当な利益を規制し、国民本位の医療制度を確立せよ。一、生存権など国民の民主的権利をじゅうりんする第二臨調路線を粉砕しよう。以上の決議が現在の当面する問題をよく物語っていると思えます。

(平松昌司 記)

患者さんの保健予防に

「健康のしおり」を

ご利用下さい



第5号「食中毒の予防」のカットより

保険医協会では住民の健康増進のため「健康のしおり」をシリーズで発行しています。第五号「食中毒の予防」の執筆は藤田士郎先生、カットは西島啓輔先生にお願いしました。なお、今回は老人保健法案の問題点も紹介し、国会請願署名にも役立つ内容となっています。

協会会員にはすでに五〇部ずつ送付してありますが、追加希望がありましたら協会事務局まで一報下さい。(五〇部単位 二〇〇円) 患者さんからの評判や、各医院での利用方法もお知らせ願えば幸いです。

協会会員の皆様へ

成年のお正月は海外で “A Happy New Year !!”

- コース1：ヨーロッパの文明をたどる10日間の旅 費用 ¥ 458,000
旅行期間 昭和56年12月29日(火)～昭和57年1月7日(木) 訪問都市：アテネ、ローマ、ニース、パリ
- コース2：ディズニーランドとアメリカ東部を訪ねる10日間の旅 費用 ¥ 738,000
旅行期間 昭和56年12月30日(水)～昭和57年1月8日(金)
- コース3：ニュージーランドの大自然とシドニーを訪ねる8日間の旅 費用 ¥ 598,000
旅行期間 昭和56年12月30日(水)～昭和57年1月6日(水)

以上のほかにもハワイなど、多数のコースを用意してございます。

※お問合せ・お申込みは 日本通運(株)金沢航空支店 (運輸大臣登録一般旅行業19号 取扱主任者：奥野一芳)

金沢市此花町6番10号 金沢ビル1F TEL (0762) 21-3184 担当：岡本



最近の感染症の変貌や抗生剤療法の進歩には目を見張るものがある。

日和見感染症の増加に従って、これを対象とする抗生剤としてβ-ラクタム系(ペニシリン系やセファロスポリン系)で抗菌スペクトルや抗菌力の優れたものの開発が相次いでいる。こうした長所をもつにもかかわらず、従来のものより副作用が少々増した感じもしないではないが、いざしにすれば、すべての原因菌に有効な万能薬は期待しがたい。その他、ホスホマイシンの市販化、アミノ配糖体の点滴静注の試み、β-ラクタマーゼ阻害剤の開発といったことも話題となっている。

研究会の講演要旨

最近の化学療法

—とくに抗生物質の使い方—

金沢大学医学部第3内科 舟田久先生



解釈、抗生剤の投与量と投与間隔の設定における血中濃度のピークや血中濃度の維持の意義、腎機能と抗生剤の排泄動態、結核以外の一般感染症における抗生剤の併用の意義、さらに抗生剤と他剤の併用な

どを考慮することも大切なことである。感染症の変貌では、平素無害菌による日和見感染症の頻度が増しているが、培養技術の進歩により解明された新たな感染症や一時忘れかかつて

いた古い感染症の話題も見逃せない。こうしたなかで、複数菌感染症の増加、シュールドモナス・セパシアなどの常用される抗生剤や消毒剤に自然多剤耐性を示す菌による感染症、抗生剤使用に伴う偽膜性腸炎、カンピロバクター腸炎、在郷重大病などが注目されている。インフルエンザ菌や肺炎球菌は、従来アシピリン耐性菌はないとされてきたが、こうした菌による感染症も問題となってきた。テトラサイクリン剤の使用頻度の減少からツツガムシ病がみられたり、抗生剤の進歩により抑制されたかみえた黄色ブドウ球菌感染症に最近重症例の多くなることが指摘されている。さらに、骨髄移植といった致死の免疫抑制の必要な治療法には、ウイルスや原虫の感染症が頻発しやすいこと

が知られている。

こうした現在の感染症の変貌をみるにつけ、原因菌の推移と抗生剤の開発の確執は今後も続くことが想定される。それゆえ、ただ最も新しく、広域抗菌スペクトルで抗菌力が強いというところのみを頼りとした盲目的抗生剤療法ではなく、感染症を正しく把握したうえで正しい抗生剤の選択に心懸けていく必要性を強調したい。

本稿は九月二十九日研究会の講演要旨を講師の舟田先生にまとめていただいたものです。

外来でおこなえる

平衡機能検査

平衡機能検査法は整理分類すると次の通りである。

- 偏倚の検査
○ 立ち直り機能の検査
○ 自覚眼振検査
○ 迷路機能検査
○ 異常眼球運動検査
○ 視運動機能検査
○ かなり高価な設備を必要とする検査が多いが、ここでは一般医家の外来でおこなえる範囲の検査法につき簡単に述べてみたい。なお各検査法の意義・判定に関しては更に成書を参照されたい。

(1) 遮眼書字法(上肢の偏倚検査)

机に向い椅子に正しくかけさせ、一辺が三〇センチ位の正方形の枠に入る大きさの字を四〜五個縦書きさせる。

まず正常頭位(正頭位、正面視)の開眼で一〜二行書かせ、次に正常頭位の遮眼(目かくしする)で四〜五行、更に頭を前後左右の四方方向に約四〇度傾斜させた姿勢でそれぞれ四〜五行書かせる。書かせる文字は姓名、生年月日、ABC…、井井井…などが

通常用いられている。鉛筆(太めの軟かいもの、マジックペンも良い)の先端以外、身体などの部分も机や紙に触れないようにし、紙はしっかりと固定してやるのが重要である。遮眼時には行を変え、実際に検査者が被検査者の手をもって書き始めの部位まで誘導してやる。

左右への字列の偏位(垂直線に対する傾き)が十度以上の場合(偏書)、字の極端な大小や不整(失調性文字)、文字上に現われた震顛(震顛文字)の認められる場合を異常とする。(保険部)

歯の寿命と値段

歯はまずお金に換算して、失った歯(抜歯したり、被せたりして)を取り戻すにいくらかかるでしょう。現在メタルボンドという処置に石川県で六万円。口



の中の歯は全部で二十八本、仮りに全部の歯がボロボロになると一六八万円也。

次に使用時間は…。大人の歯が生えそろう十四才頃から平均寿命を七十四才としたら生涯自分の歯を使用するのは六十年間。つまり一六八万円を六十年間銀行に定期預金したのと同じ。年利六・二五%として、元金複利合計は五三七六万円。これが全部の歯の単価。従って一歯あたり(378/28) 一三・九二万円也。

太腸疾患における診断と治療(その4)

大腸X線検査法について

金沢大学がん研外科教授

磨伊正義

大腸X線検査法の最大のポイントは、糞便や残渣のない前処置のもとに、二重造影を駆使して、微細な粘膜面の性状を描出すことにある。従って二重造影では、徹底した腸管内の清掃が望まれ、その成否は前処置如何によって決まるといっても過言ではない。

現在ではBlockの変法が好んで用いられているが、この方法は基本的には、非脂肪性で線維成分の少ない食餌、塩類下剤(クエン酸マグネシウム)の投与、塩類下剤を有

効にするための多量の水の補給、蠕動を亢進させ、小さな残渣物を有効に排泄させるため、接触性下剤(コラック、ソルベン)投与の四段階より成り立っている。私がルーチンに行なっている具体例を表に示した。この方法は一面倒のように見えるが、被検査者の身体的・精神的負担が軽くすみ、腸洗浄の必要性が全くない。

次に造影剤の濃度としては、六〇〜七〇%W/Vが最も適当であり、私はルーチン検査では、バルトゲンゾル六〇%W/V、二五〇〜三〇〇mlを用いている。また撮影方法としては透視下でバリウムの注入を開始し、流入の状態、腸管の走行、陰影欠損、狭窄等の有無をみた上で、バリウムの先端が横行結腸中央部に達したら、注入を中止する。次に透視下で腸管の膨らみ具合をみながら空気をゆつくり、少しずつ送り込む(時には送気の前には体位変換を行ない、バリウムを上行結腸にまで送り込む)。次に腸管全体、特に盲腸および上行結腸が充分に拡張していることを確認してから、注入器を抜き、背臥位撮影を中心に左右側臥位腹臥位、半臥位、立位と各目的に応じて回転させ、撮影を進めるが、全撮影に要する時間は一〇分前後である。

このように one stage methodによる大腸二重造影の原則は、バリウムおよび空気注入後、体位の変換によってバリウムの粘膜面の付着をはかることにも、大腸各部の二重造影を作ることであり、撮影順序、部位、体位などについて種々の Variation があるので、実際の経験のもとに、各自の工夫による方法と熱意が、よりきれいな二重影像が得られ、質的診断もより容易となる。

(つづく)

前処置法の一例

Table with columns: 氏名, 検査日, 月, 日, 時, 時間, 指 示, チェック. It details the preparation steps for a barium enema, including fasting and drinking water.

郷土の味シリーズ ③ 柚餅子

高くついた柚子

中浦屋 中浦駿

本紙九月十日付の郷土の味シリーズで森八片町店長・中宮武様が「和菓子のこと」と題されまして、簡潔・明瞭な御意見、誠に参考になりました。浅学の身にとりまして、中宮様の後をお受けすること難渋いたしておりますが、幸い輪島には保存食から発送したといわれます伝統あるお菓子で、丸柚餅子という変なものがありますので、その内の思い出の一つに少し触れて見たいと思います。

大きな柚子の、キズ一つない柚子の中味を取り出し外皮のみで、一つの容器として用いますところの丸柚餅子にとりまして絶対必要なものは考えるまでもなく、良質の大きな柚子であります。この十年程前より柚子の産地の生産者の皆様方に、委託栽培・協同仕入の形態の道を確保しました。今日では、以前の地元の家を駆け回って柚子を買い付けた苦勞が忘れられがちに思われてなりません。

前置きが大層長くなりまして、表題の高くついた柚子に入ります。約十四・十五年位前の十一月中頃の日曜日、柚子を買い付けに行くべく、悪友連四、五人に手伝いを願って集まって貰いました。その日は秋の中頃としては珍しい位、暖く良い日和でありました。

午前十一時頃、二台の車に分乗した悪友柚子獲り小隊、ガヤガヤと「ダラ口」をたたきながら、前もって話しを通してある十五kmくらい奥の近在へ向けて出発いたしました。確か縄又町という在所でした。今ほど道路も良くなり、ガタガタ道を約二十分、目的の農家の庭先へ何んとか車を付けたもので。樹令約五十・六十年位の大きな木の青い葉かげから、黄色く色付き見事に実った柚子がのぞいているのは、一枚の絵のようでもありました。早速作業に入りました。木に登る者、下で投げおろす柚子を受け取る者「悪友達は草野球のチーム・メイト」それを片付ける者と作業はスムーズでした。四・五センチもあるトゲから身をまもりながら約一時間、かれこれ午後一時に近い頃と思えます。一休みのため木から下り、車座人なつて、ワイワイガヤガヤ駄べっていましたその時です。

・ワーク、誠に見事なものでした。柚子の木の下で「コンロ」を最中に車座になりシイタケを焼きはじめたのに、ものの十五分もかからなかったでしょう。最初のお神酒一本だぞ、が二本になり、三本目は私から催促するようになったといえ、後は御想像の如く、柚子獲りはそれで、ジ・エンド、赤い夕日を背に受けて何んとか家までたどりつき、百個たらずの柚子を家人に預け、後はお定まりの安酒場。仕入れの金も何故へやら。後に残るは酒場の「ツケ」、何んとも高い柚子につきました。柚子についての若い日の思い出であります。



中浦屋の製造工場にて

前置きが大層長くなりまして、表題の高くついた柚子に入ります。約十四・十五年位前の十一月中頃の日曜日、柚子を買い付けに行くべく、悪友連四、五人に手伝いを願って集まって貰いました。その日は秋の中頃としては珍しい位、暖く良い日和でありました。午前十一時頃、二台の車に分乗した悪友柚子獲り小隊、ガヤガヤと「ダラ口」をたたきながら、前もって話しを通してある十五kmくらい奥の近在へ向けて出発いたしました。確か縄又町という在所でした。今ほど道路も良くなり、ガタガタ道を約二十分、目的の農家の庭先へ何んとか車を付けたもので。樹令約五十・六十年位の大きな木の青い葉かげから、黄色く色付き見事に実った柚子がのぞいているのは、一枚の絵のようでもありました。早速作業に入りました。木に登る者、下で投げおろす柚子を受け取る者「悪友達は草野球のチーム・メイト」それを片付ける者と作業はスムーズでした。四・五センチもあるトゲから身をまもりながら約一時間、かれこれ午後一時に近い頃と思えます。一休みのため木から下り、車座人なつて、ワイワイガヤガヤ駄べっていましたその時です。

産婦人科開業医の分岐点

金沢市 浮田俊彦

小生が産婦人科医局に入局した頃は、開業すれば、どこにか生活でき、医事紛争もななく大平な開業時代であったように思われます。ところが小生が開業した頃より医療事故の裁判が増加しだし、開業医の生活も少しずつ経営的に悪化の傾向になりつつあったと思われまふ。

開業前は、最前線の医療に對する意欲に充ちあふれておりました。いざ開業初日を迎える頃より、医療行為以外

の諸事につきまといわれ、体重も十キロ程減少し、今までの勤務医の自由から一転して開業医というコンクリートの固まりの中に埋めこまれたような自由のない生活に入ってしまった。常にポケットベルを持ち歩き、ポケットベルの音に何度びくっと驚いたことかわかりません。

これまでして産婦人科開業医はがんばっています。最近、分娩数の減少、保険点数の改定による収入の減少、医療事故裁判の増加と富士見産婦人科事件以来、国民の産婦人科開業医に対する冷やかな態度と、これからの第一線の産婦人科開業医の将来は長い暗黒時代が続くものと思われまふ。そこで、これからの産婦人科開業医はどのように変化してゆくのかと考えてみました。

まず分娩を扱う医療機関と扱わない医療機関へと別れてゆくのではないかと思います。一方、分娩を扱わない医療

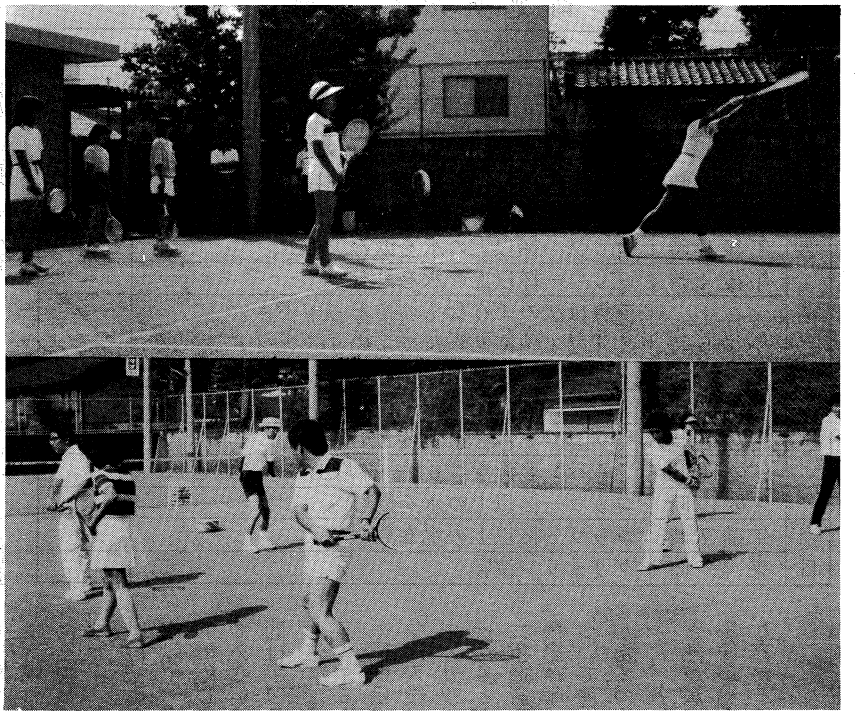
医療事故裁判の増加と富士見産婦人科事件以来、国民の産婦人科開業医に対する冷やかな態度と、これからの第一線の産婦人科開業医の将来は長い暗黒時代が続くものと思われまふ。そこで、これからの産婦人科開業医はどのように変化してゆくのかと考えてみました。

医療事故裁判の増加と富士見産婦人科事件以来、国民の産婦人科開業医に対する冷やかな態度と、これからの第一線の産婦人科開業医の将来は長い暗黒時代が続くものと思われまふ。そこで、これからの産婦人科開業医はどのように変化してゆくのかと考えてみました。

医療事故裁判の増加と富士見産婦人科事件以来、国民の産婦人科開業医に対する冷やかな態度と、これからの第一線の産婦人科開業医の将来は長い暗黒時代が続くものと思われまふ。そこで、これからの産婦人科開業医はどのように変化してゆくのかと考えてみました。

医療事故裁判の増加と富士見産婦人科事件以来、国民の産婦人科開業医に対する冷やかな態度と、これからの第一線の産婦人科開業医の将来は長い暗黒時代が続くものと思われまふ。そこで、これからの産婦人科開業医はどのように変化してゆくのかと考えてみました。

医療事故裁判の増加と富士見産婦人科事件以来、国民の産婦人科開業医に対する冷やかな態度と、これからの第一線の産婦人科開業医の将来は長い暗黒時代が続くものと思われまふ。そこで、これからの産婦人科開業医はどのように変化してゆくのかと考えてみました。



横山コーチをお招きして本格的なテニス講習会を開く。テニスブームの折、初心者から愛好家まで合計20名の参加者があり、青天のもと思いっきりラケットを振りましました。(9月23日、北陸電力テニスコートにて)